

広げよう！景観まちづくりの取り組み

倶知安町の景観は、みなさんの普段何気ない行動や活動の積み重ねにより生み出され、まちづくりにつながっています。現在、倶知安町で行われている多様な活動を景観計画における5つの基本方針ごとに整理し、それぞれの性質から見てきた8つのキーワードとともに「景観まちづくり活動」として紹介します。

キーワード	●知る・つたえる ●たのしむ ▲はぐくむ ◆うけつぐ	✂つなぐ ■つくる ●まもる ●ととのえる

1 豊かな緑と水をいかす

- 身近にある自然にふれる機会の創出**

●

●

▲

 - ・ふるさと探訪
 - ・身近な自然や歴史に関するフィールドワークを行う。
- 自然環境に対する保全活動の推進**

▲

●

●

 - ・コマクサ除去活動
 - ・羊蹄山に生える国内外来種コマクサの除去を行う。

2 四季折々に表情を変え、営み豊かな農林業

- 農業環境や地域資源の適正な維持管理につながる取り組みの促進**

●

●

 - ・農業の生産力・経営力向上への支援
 - ・農家に対し、堆肥購入や農業経営改善指導等の補助を実施。
- 森林資源の循環利用の推進**

●

●

 - ・地域材利用の促進活動
 - ・イベントにて地域材を利用したもののづくり体験ができる場の提供。
- 農業に関する情報発信および啓発**

●

✂

●

 - ・“じゃがいもの花” 情報発信
 - ・町のホームページで馬鈴薯の花が綺麗に見みられる時期や場所の発信。

3 住みよい生活環境と潤いのある都市づくり

- 生活環境の向上につながる景観づくりの推進**

▲

●

 - ・クリーン作戦
 - ・春先に各町内会や各団体で、ごみ拾いを実施。
- 自然環境と農業風景を活かした沿道景観づくり**

▲

●

 - ・シーニックバイウェイ活動
 - ・地域の事業者を中心に町民と沿道の草刈りやゴミ拾いを実施。
- 地域特性に対応した魅力的なまちづくりの推進**

■

▲

●

 - ・無電柱化の計画的な推進
 - ・景観や防災の観点から、リゾートエリアを中心に無電柱化を推進。

4 産業や人の営みを感じる資産の魅力を高める

- 自然環境を活かした持続可能なリゾート景観の形成**

●

✂

●

●

●

 - ・ニセコひらふエリアのおもてなし空間の取り組み
 - ・清掃活動や除草作業を実施し、季節ごとに花やイルミネーションで彩る。
- 交流を通じた景観形成の促進**

✂

●

▲

 - ・ひらふ祭り
 - ・地元農産品販売や近隣店舗の屋台、羊蹄太鼓と花火のパフォーマンスを行う。
- 景観資源の魅力発信**

●

✂

●

▲

 - ・観光ガイドブック・パンフレットの配布
 - ・ニセコエリアナビ、ニセコ温泉ガイドなどを配布。
- 暮らしに豊かさ、賑わいにつながるまちづくり**

✂

●

▲

 - ・くっちゃん じゃが祭り
 - ・町の特産品「くっちゃんじゃが」をテーマにした祭り。

5 育んだ地域への愛着を次の世代につなげる

- 一人一人の美しい行動による“景観文化”の形成**

●

▲

◆

 - ・風景を守る普段の行動
 - ・道ばたのゴミを拾う、庭で花を育てる、雪かきを歩道まで行うなど。
- 町民の意識向上につながる取り組みの推進**

●

●

▲

◆

 - ・公民館文化講座
 - ・地域の方が講師となり、「羊蹄太鼓」や「園芸」等について講座を行う。
- 景観まちづくりの次世代を担う人材育成**

●

✂

 - ・くっちゃんワンダーキッズ
 - ・町内の小学5学年を対象にした、町内の自然・文化・スポーツなど「直接体験」の実施。

ここで紹介した活動以外にも、暮らしを豊かにする景観まちづくり活動が幅広く行われています。一人一人がそういった活動を知り、参加し、活動を広げることで、全体が景観まちづくりの大きな輪でつながり、次の世代に引き継がれて行きます。

そんな「つながりの“環（わ）”」をみなさんで育んでいきましょう。



倶知安町景観計画（素案） - 概要版 - 令和4年2月

倶知安町 まちづくり新幹線課 景観室景観係 住所：〒044-0001 北海道虻田郡倶知安町北1条東3丁目3番地 電話：0136-56-8012

策定の目的、計画の位置づけ

近年、倶知安町ではリゾート開発が拡大傾向にあり、新幹線や高速道路への期待による土地売買の活発化が見受けられます。こうした社会情勢の変化や景観への関心の高まりを受け、豊かな暮らしにつながる恵まれた自然を守り育み、魅力ある景観づくりのため、景観法に基づく総合的な計画として倶知安町景観計画を策定します。

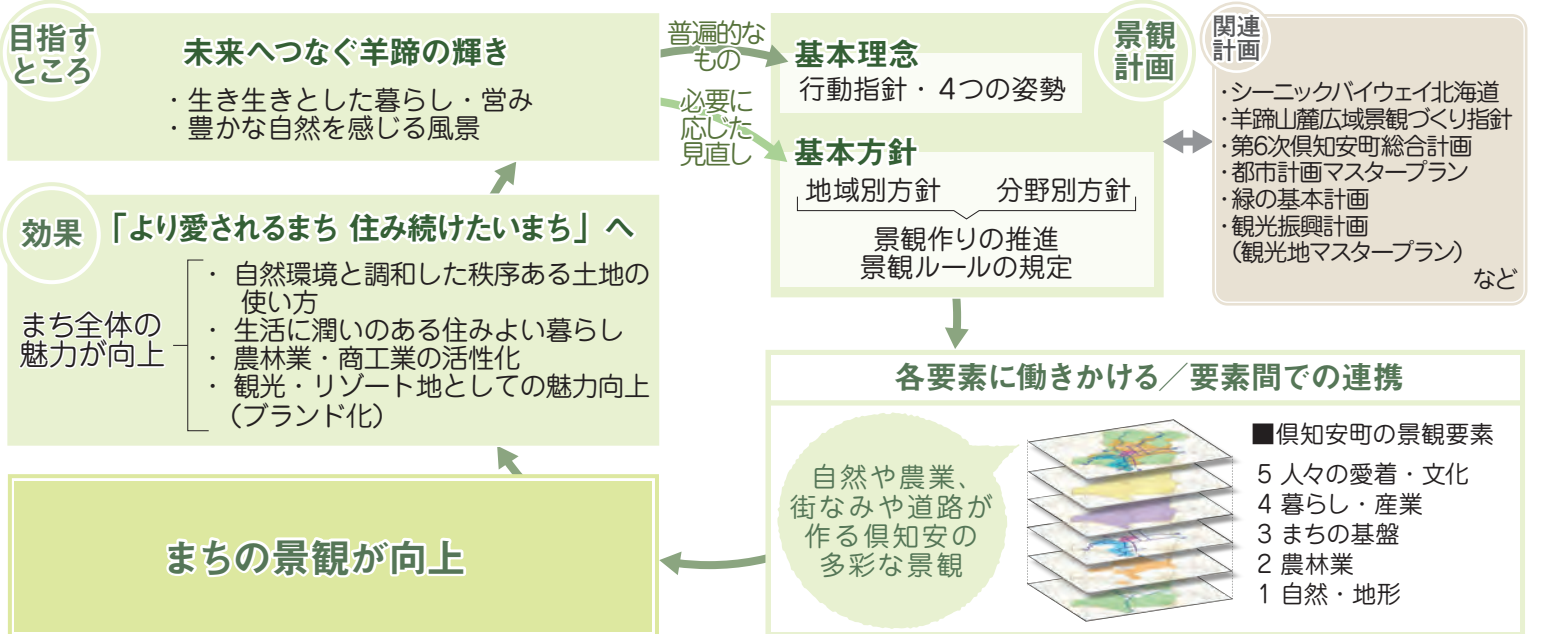
- 目的

◆ 倶知安に関わるすべての人がこの地に愛着と誇りを持ち続けられるまちづくり
 ◆ 守る、育む、創る視点でのまちづくり

基本理念・行動指針・基本方針

基本理念	行動指針	行動のための4つの姿勢	基本方針	景観まちづくりの取り組み
未来へつなぐ羊蹄の輝き	先人から受け継いだこの大地を大切にし、愛着と誇りを育み、次の世代につなげる	普遍的 ～過去・現在・未来～ 私たちに恵みと厳しさを与える自然環境をよく理解し、「謙虚」な姿勢を持ちます。	豊かな緑と水をいかす	● 身近にある自然にふれる機会の創出 ● 自然環境に対する保全活動の推進
		過去に対する 倶知安の風景と文化をつくりあげた先人の思いや取り組みに「敬意」の気持ちを持ちます。	四季折々に表情を変え、営み豊かな農林業	● 農林業に関する情報発信および啓発 ● 農業環境や地域資源の適正な維持管理につながる取り組みの促進 ● 森林資源の循環利用の推進
		現在に対する 人と人とのつながりを大切にし、みんなで支え合う「厚情（思いやり）」の精神を持ちます。	住みよい生活環境と潤いのある都市づくり	● 生活環境の向上につながる景観づくりの推進 ● 地域特性に対応した魅力的なまちづくりの推進 ● 自然環境と農業風景を活かした沿道景観づくり
		未来に対する 次世代の人たちがより良い暮らしや営みのために工夫して変化しようとする取り組みに「寛容」の心を持ちます。	産業や人の営みを感じる資産の魅力を高める	● 自然環境を生かした持続可能なリゾート景観の形成 ● 交流を通じた景観形成の促進 ● 景観資源の魅力発信 ● 暮らしに豊かさ、賑わいにつながるまちづくり
			育んだ地域への愛着を次の世代につなげる	● 一人一人の美しい行動による景観文化の形成 ● 町民の意識向上につながる取り組みの推進 ● 景観まちづくりの次世代を担う人材育成

景観まちづくりの効果

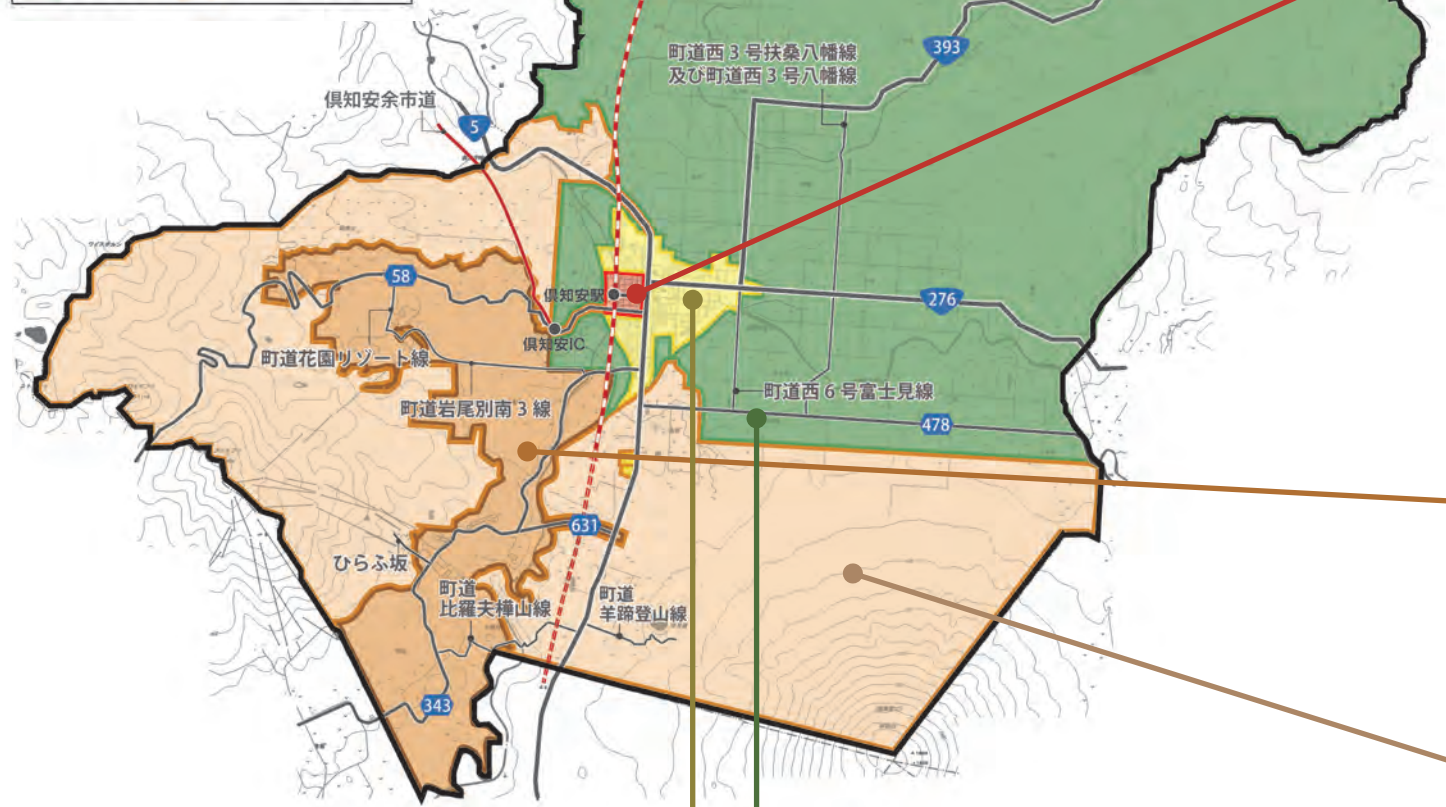


各地域の景観まちづくりの方針

倶知安町の景観の特徴を踏まえ、倶知安町の景観形成の基本方針を5地域に分けて示します。そのうち景観上重要であり本町の代表的かつ象徴的な街なみを形成している3地域を重点地域として指定し、先導的かつ重点的に景観形成の取組を進めます。

地域区分	
一般地域	・市街地域 ・郊外地域
重点地域	・駅前周辺重点地域 ・リゾート近隣重点地域 ・リゾート景観重点地域

凡例	
	町域
	市街地域
	郊外地域
	駅前周辺重点地域
	リゾート景観重点地域
	リゾート近隣重点地域



一般地域

市街地域

<景観形成の方針（一部抜粋）>

住環境形成地区

- ・家の前の緑化や清掃など町民の手で創り出す良好な景観づくりを通して、まちへの愛情を育みます。
- ・市街地の緑の拠点となる公園や、街路樹などまちなかにある緑のネットワークを広げ、うるおいのある景観づくりを進めます。

公共業務地区

- ・公共施設が、周囲から羊蹄山や二セコ連峰への眺望や、街なみの連続性を妨げることないよう、建物や附属設備の配置や規模、意匠の誘導を図ります。

市街沿道地区

▶国道5号

- ・市街中心を縦断し、商業地域が伸びる国道5号沿道は、羊蹄山や二セコ連峰の眺望や、街なみの連なりを確保する事を意識し、視野の広い沿道景観づくりを図ります。

▶国道276号

- ・比較的低層の建物等で街なみが形成されている国道276号沿道においては、街路樹や花のうるおいのある風景を大切に、羊蹄山や二セコ連峰の眺望に配慮した、落ち着いたきのある沿道景観づくりに努めます。

郊外地域

<景観形成の方針（一部抜粋）>

旭ヶ丘丘陵地区

- ・旭ヶ丘丘陵地区は、旭ヶ丘公園から望む街なみと雄大な山なみの景色を大切に、自然が身近にある倶知安町の豊かな暮らしにつながる景観づくりを進めます。

営農地区

- ・農地の保全、倶知安の美しい風景である四季折々に変化する豊かな農業景観を大切にします。
- ・農業景観の観光資源としての魅力高め、生業としての農業と調和・共生する景観形成を進めます。

森林地区

- ・営農地区やリゾート地域などの背景となる豊かな森林の保全や活用を進めます。



重点地域

重点地域では、各地域の特性を踏まえた景観づくりの方向性を基に、建築物や工作物の形態意匠や高さの基準、屋外広告物に関する独自の規定、景観形成基準などのきめ細かなルールを設定し、地域ごとの個性や魅力を大切に景観形成を推進します。

駅前周辺重点地域

<景観形成の方針>

人々の交流の中で生まれるにぎわいと憩い、おもてなしを感じる駅周辺の街なみ

駅前広場地区

- ・羊蹄の四季の恵み～ふるさとの風景と玄関口にふさわしい潤いのある空間～
- ・緑の演出によるおもてなしの雰囲気創出（多目的な憩いの空間）
- ・くとさんパークと連動し山なみへの眺望を大切に空間形成
- ・人々が滞留し非日常のにぎわいが生まれる空間づくり（多目的な憩いの空間）

西3丁目通り地区

- ・国際リゾートの玄関口となるおもてなしを感じる街なみ
- ・駅前広場と一体となった空間形成
- ・駅施設(視点場)からの羊蹄山の眺望への配慮

駅前通り地区

- ・歩く楽しみを感じて集まりにぎわい広がる駅前通り
- ・歩行促すにぎわいがあり居心地の良い空間づくり
- ・空への広がりのある明るい道路空間の確保

道道倶知安二セコ線地区

- ・高い利便性と落ち着いたきを合わせ持つ街なみ
- ・自動車交通に対応した魅力ある街なみの創出

駅周辺北側地区

- ・駅からの利便性を活かした住商混交の街なみ
- ・周辺住環境と調和した街なみ

飲食商業地区

- ・店舗の個性ある魅力と賑わいを感じる街なみ
- ・にぎわいを感じる繁華街の街なみの創出

駅周辺南側地区

- ・眺望に配慮した落ち着いたきのある住環境と商業施設が調和した街なみ
- ・落ち着いたきとうるおいのある街なみ

国道5号地区

- ・都市のにぎわいとうるおいが調和した沿道の街なみ
- ・自動車交通に対応したにぎわいにつながる沿道空間の創出



リゾート景観重点地域

<目標像>

自然豊かに四季を通じた魅力あるリゾート空間

拠点地区

- ・スキー場周辺を中心にリゾート地の拠点となる中高層の宿泊施設や店舗などの集積を促し、質の高いリゾート地を形成

低層地区

- ・スキー場周辺のにぎわいを支え、ゆとりのある質の高いリゾート地を形成

<景観形成の方針>

快適なリゾート滞在環境と豊かな自然環境を大切にする～緑・水・道への負荷を抑えた土地利用の推進～

維持地区

- ・リゾートの受け皿としての機能を持ち、ボリュームを抑えた落ち着いたきのあるリゾート地を形成

保全地区

- ・良好な自然環境の保全を前提とし、リゾート開発は環境への負荷を抑え低密度な滞在環境を図り、自然環境と調和した良好な環境を維持



リゾート近隣重点地域

<景観形成の方針>

羊蹄山と二セコ連峰へいざなう、自然と暮らしの共生空間

郊外沿道地区

まちの暮らしを支える 倶知安の玄関口

- ・まちの暮らしを支える土地利用を保ち眺望を確保するよう、建物や工作物の高さへの配慮、沿道の緑化修景等による景観づくり

峠下・花園北地区

道路から望む豊かな自然と森林景観

- ・豊かな自然と森林景観の維持を重んじ、特に国道や道道からの景観に配慮した景観形成

高砂・比羅夫地区

双峰を望む、先人から継がれる農林地域

- ・二セコ連峰や羊蹄山の遠景眺望を損なわない、建物や工作物の高さに配慮した景観形成

羊蹄山麓地区

羊蹄に連なる広大な裾野を仰ぎ見る場

- ・高さのある建物や工作物による景観への影響を抑え、羊蹄山への眺望と農地・森林の保全を重んじた景観づくり

二セコ連峰山岳地区

リゾートの土台である豊かな自然を尊ぶ地区

- ・自然公園法の規定と豊かな自然環境を保ち、これまでと変わらぬ自然景観の維持保全

羊蹄山山岳地区

我々倶知安に住まう者の心 高く尊き羊蹄

- ・我々が内外に誇る最大の景観資源として、これまでと変わらぬ自然景観の維持保全

